

THE IMAGE OF JAPANESE TEACHER EXPECTED BY STUDENTS
AT THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Nana Watanabe



A Term Paper Submitted in Partial Fulfillment of the Requirements
for the Degree of Master of Business Administration Program
in Japanese Business Administration

Graduate School
Thai-Nichi Institute of Technology
Academic Year 2020

泰日工業大学において学生が期待する日本語教師像について

渡邊奈那

TNI

泰日工業大学大学院
経営学部日本語経営コース
修士論文
2020年度

NANA WATANABE : THE IMAGE OF JAPANESE TEACHER EXPECTED BY
STUDENT AT THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY ADVISOR :
DR. BOONYADA NASOMBOON, 51 PP.

In recent years, the number of learners of Japanese language has increased in Japan and abroad, and the number of learning institutions and teachers has been increasing. According to the 2018 Japan Foundation survey, the total number of Japanese learners abroad is about 3.85 million and the number of teachers is about 80,000. Of these, native Japanese teachers account for about 20% of the total, and non-native Japanese teachers account for about 80%. In many educational institutions that handle Japanese, native-speaking teachers and non-native-speaking teachers are involved in educational activities. It is desirable to understand the roles of native-speaking teachers and non-native-speaking teachers in collaborative classes, and aim to improve the quality of teachers.

At the JPN of Thai-Nichi Institute of Technology, which is also the subject of this survey, Thai teachers and Japanese teachers are in pairs and they are in charge of one class, and alternate classes are conducted. At JPN, Thai teachers and Japanese teachers teach the same content. Therefore, the purpose of this survey is to investigate the expectations of learners for Thai teachers and Japanese teachers, and to clarify what kind of difference there is in those expectations.

In this survey, a questionnaire survey was conducted for students studying JPN101-JPN301. In the questionnaire, I prepared 30 questions for Thai teachers and 27 questions for Japanese students, totaling 57 questions, and divided them into 5 categories. In addition, I asked the questions to be answered in five cases and collected the data.

As a result of the analysis, the common expectation for Thai teachers and Japanese teachers was about humanity such as having fun classes. Thai teachers were expected to understand the learners by making the most of their experience as a learner. It was found that Japanese teachers are expected to use it as a phonetic model for pronunciation feedback. Based on these results, we believe that the course management and class management that take advantage of the characteristics of both teachers will be improved. In addition, follow-up surveys are needed to capture the expectations of learners of teachers.

Graduate School

Student's Signature.....

Field of Study Japanese Business Administration

Advisor's Signature.....

Academic Year 2020

渡邊奈那：泰日工業大学において学生が期待する日本語教師像について

指導教官：DR. BOONYADA NASOMBOON, 51 PP.

近年日本国内外において、日本語学習者数は増加し、学習機関数や教師数も増加の一途を辿っている。2018 年度の国際交流基金の調査によれば、海外における日本語学習者の総数は約 385 万人であり、教師数は約 8 万人である。そのうち、日本語母語話者教師は全体の約 20%、非日本語母語話者教師は約 80%である。そして、多くの教育機関で母語話者教師と非母語話者教師が共に教育活動にあたっている。協働で授業を行うにあたり、母語話者教師と非母語話者教師の役割を把握し、教師の質的向上が望まれる。

本調査の対象である泰日工業大学の JPN においてもタイ人教師と日本人教師がペアとなり 1 クラスを担当し、授業を行っている。JPN ではタイ人教師と日本人教師が教える授業内容は同じである。そこで、本調査では学習者が持つタイ人教師と日本人教師への期待を調査し、その期待にどのような差異が出るのかを明らかにすることが目的である。

本調査では JPN101～JPN301 を勉強している学生を対象にアンケート調査を行った。アンケートではタイ人教師に対する質問と日本人に対する計 57 問の質問を用意し、5つのカテゴリーに分けた。また、質問には 5 件法で回答してもらい、データを回収した。

分析の結果、タイ人教師と日本人教師に共通して期待することは、楽しく授業するなどの人間性に関することであった。タイ人教師に対しては、学習者だった時の経験を活かすことなどの学習者への理解が期待されていた。日本人教師には、発音のフィードバックなどの音声モデルとして期待されていることが分かった。これらの結果を踏まえ、両教師の特性を活かしたコース運営や授業運営が改善されていくと考える。また、学習者が持つ教師への期待をとらえるためにも追跡調査が必要である。

大学院

学生.....

経営学部日本語経営コース

指導教官.....

2020 年度

謝辞

この度、本論文を作成するにあたり、建設的で的確なご意見をくださったブンヤダー先生に感謝申し上げます。また、本研究をするにあたりアドバイスをしてくださったランサン先生、ブンチュー先生、ワンウィモン先生に心より感謝申し上げます。

そして、調査に協力してくださった JPN の学生の皆さん、ありがとうございました。皆さんのおかげで研究を進めることができました。さらに、タイ語の翻訳に協力してくださったポーンラット先生とサルット先生に深く感謝申し上げます。

簡単にですが、本論文に関わって下さった方々への感謝の言葉とし、これを謝辞といたします。

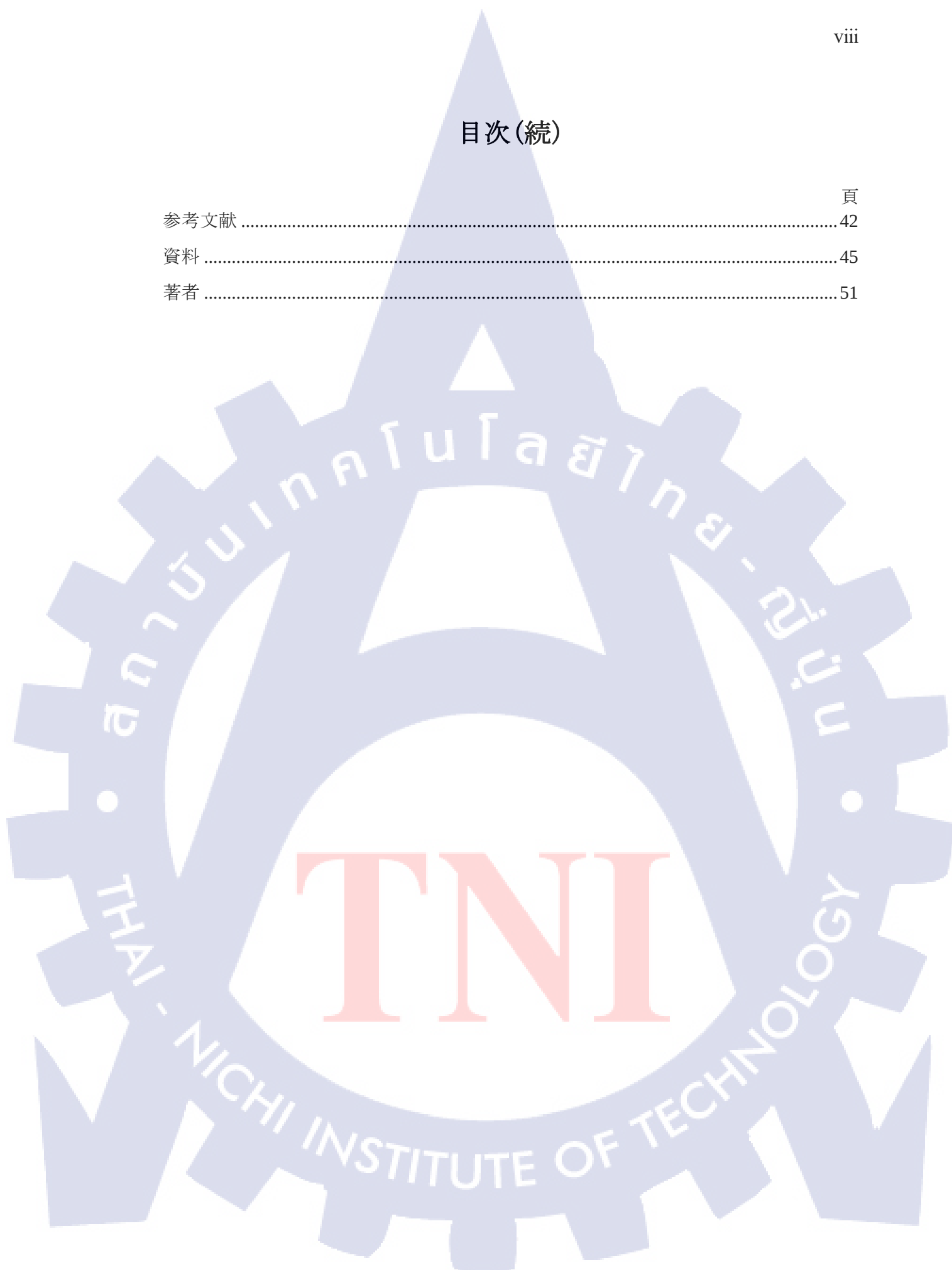
渡邊奈那

目次

	頁
要旨	iv
要旨	v
謝辞	vi
目次	vii
表	ix
図	x
章	
1 はじめに	1
1.1 調査の背景.....	1
1.2 本研究の目的.....	3
1.3 本研究の仮説.....	3
1.4 研究の領域.....	3
1.5 研究の枠組み.....	5
1.6 寄与	5
1.7 仮説の定義.....	6
2 先行研究	7
2.1 望ましい日本語教師の資質.....	7
2.2 学習者が望む日本語教師像.....	8
3 方法論	11
3.1 データ収集.....	11
3.2 分析方法.....	12
3.3 信頼性分析.....	18
4 データ分析	20
4.1 調査対象者.....	20
4.2 タイ人教師と日本人教師のそれぞれに対して期待すること	22
4.3 仮説検証：タイ人教師と日本人教師に対する期待の差異.....	31
5 結論と提案	36
5.1 調査結果の分析.....	36
5.2 提案	39

目次(続)

	頁
参考文献	42
資料	45
著者	51



表

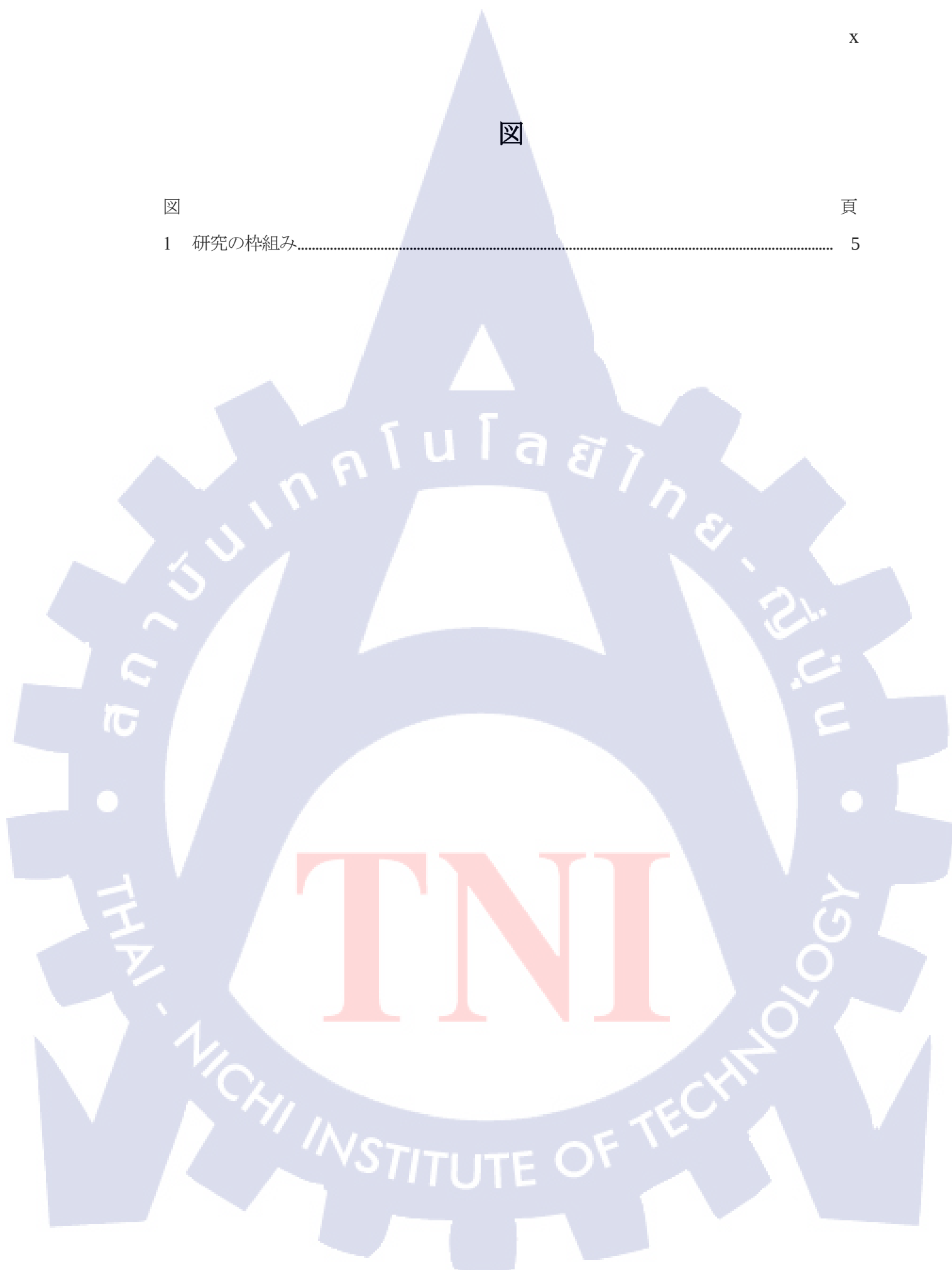
表	頁
1 サンプル数の定義.....	12
2 平均値の評価基準.....	12
3 タイ人教師に関する質問項目	13
4 日本人教師に関する質問項目	15
5 信頼性分析(タイ人について).....	19
6 信頼性分析(日本人について).....	19
7 性別	20
8 学年	21
9 学部	21
10 日本語学習歴	22
11 平均値の評価基準.....	23
12 日本語教師の専門性.....	23
13 指導経験と資格.....	25
14 教師の人間性	26
15 コース運営	27
16 授業の実践能力.....	28
17 仮説 1	31
18 仮説 2	32
19 仮説 3	33
20 仮説 4	34
21 仮説 5	35
22 仮説検証のまとめ.....	38



図

頁

1 研究の枠組み.....	5
---------------	---



第1章 はじめに

1.1 調査の背景

近年日本国内外において、日本語学習者数は増加し、学習機関数や教師数も増加の一途を辿っている。2018 年に実施された国際交流基金の調査によれば、海外における日本語学習者の総数は約 385 万人であり、教師数は約 8 万人である。そのうち、日本語母語話者教師は約 1 万 6 千人であり、全体の約 20%を占めている。非日本語母語話者教師は約 80%ということであり、多くの教育機関で母語話者教師と非母語話者教師が共に教育活動にあたっている。

タイにおける日本語学習者の総数は、国際交流基金による調査によれば、約 18 万 5 千人であり、教師数は約 2 千人である。うち、日本語母語話者の教師は約 600 人で全体の約 30%を占めており、非日本語母語話者の教師は約 1400 人で全体の 70%である。タイにおいても母語話者教師と非母語話者教師が協働で教育活動にあたっている教育機関が多い。学習者数、教師数、教育機関は今後も増加すると見込まれる。

海外で働く日本語母語話者教師は、大学の日本語教育主専攻・副専攻、大学院(修士・博士)、日本語教師養成講座の修了者であったり、国際交流基金、JICA 等の機関の派遣であったりするが、現地の非日本語母語話者教師といかに連携し、協働しながら授業を進めていくかが課題となる。一方で、現地の非日本語母語話者教師は国や教育機関それぞれの条件で日本語教師として雇用されるが、日本語教育者としての養成は重要な課題とされている。

本調査の対象であるタイの高等教育機関の非日本語母語話者教師の資格要件について国際交流基金によれば、「大学の日本語学科の卒業生の中から高等教育機関の日本語教師になる者もいる。多くは、日本などの国外または国内の大学院を修了した者である。タイの大学のポストを得るには、修士号以上の高い学位が必要である。大学で職を得てから、博士号取得のために在職でタイの大学の博士課程で学ぶ教師、日本に留学する教師も少なくない。」とされている。つまり、日本語教育の学習経験の有無

は問われないということである。本調査の対象である泰日工業大学(以下「TNI」と呼ぶ)の JPN においても、何名かが TNI の卒業生が日本語教師として勤務している。また、修士号以上を持つ教師も在籍しているが、やはり日本語教育を学んだ経験がある教師は少ない。

TNI の JPN では日本語母語話者教師(以下「日本人教師」と呼ぶ)と非日本語母語話者教師(以下「タイ人教師」と呼ぶ)がペアとなり、1 つのクラスを担当している。そして、日本人教師もタイ人教師も文法や会話など同じ内容を教えている。このような教育現場にあたる中で、やはりタイ人教師にも日本語教育の知識を身に着ける必要があるのではないかと考える。また、日本人教師とタイ人教師にはそれぞれの特性を生かした役割があるのではないかと考える。そこで、教師の立場からタイ人教師と日本人教師それぞれの日本語教師の専門性を構想するのではなく、日本語を学ぶ学習者の立場から望ましいタイ人教師と日本人教師それぞれの日本語教師像を明らかにする。学習者から望む教師像を見ることによって、教師としての取り組みに何らかの示唆を与えられると考える。また、自分自身の教育活動を円滑に進め、学習者の学びを促進するうえでも重要である。

以上のように、海外で母語話者教師と非母語話者教師が協働で教育にあたる現場では、母語話者教師と非母語話者教師との連携をいかにうまくできるかや、非母語話者教師の日本語教育者としての養成などの課題が山積みである。そこで本研究では、学習者からの視点に着目し、実際に日本語教師による日本語の授業を受ける学習者がどのような日本語教師像・資質を期待しているか明らかにし、先述のような課題を解決できる糸口を探っていき、学習者が持つ日本語教師像・資質を調査し、分析を行い、調査結果を踏まえ、日本人教師とタイ人教師のそれぞれの役割を見直す。また、互いの利点を生かしたチーム・ティーチングを行うことが可能かについて考察する。

1.2 本研究の目的

本研究の目的は、TNI で JPN を学ぶ学習者が持つ日本語教師像を調査し、タイ人教師と日本人教師への教師像にどのような差異が見られるかを明らかにすることである。そして、チーム・ティーチングにおけるそれぞれの役割を見直し、互いの利点を生かしたコース運営をするために必要な資質とは何かを考察する。

1.3 本研究の仮説

学習者の持つ日本語教師への教師像について、タイ人教師と日本人教師との間に差異が見られるのか仮説を立てた。アンケートでは、タイ人教師についての「指導経験と資格」の質問項目にある3問以外はタイ人教師と日本人教師についての質問を統一し、比較して分析を行った。

仮説1：日本語教師の専門性についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

仮説2：指導経験と資格についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

仮説3：教師の人間性についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

仮説4：コース運営についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

仮説5：授業の実践能力についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

1.4 研究の領域

本研究でのアンケート調査対象者は TNI の JPN101・JPN201・JPN301 を学習する学生である。JPN101 は1年生、JPN201 は2年生、JPN301 は3年生が2020年度の前学期に履修する日本語の科目である。留年している学生や再履修している学生もいるので、他の学年が混ざっていることもある。また、JPN101 から JPN301 を教えている日本語教師の内訳は、タイ人教師が11名、日本人教師が8名である。

1.4.1 調査対象の母集団と回答者について

母集団

1,679 名 (2020 年 8 月現在)

回答者

601 名

1.4.2 変数について

本調査の仮説検証では以下の変数を用いた。

独立変数

タイ人教師への期待

日本人教師への期待

所属変数

期待することの категорияは 5 つに分けられる。

1. 日本語教師の専門性
2. 指導経験と資格
3. 教師の人間性
4. コース運営
5. 授業の実践能力

1.4.3 調査の期間

本調査の調査期間は 2020 年 7 月から 2020 年 8 月末までである。

1.5 研究の枠組み

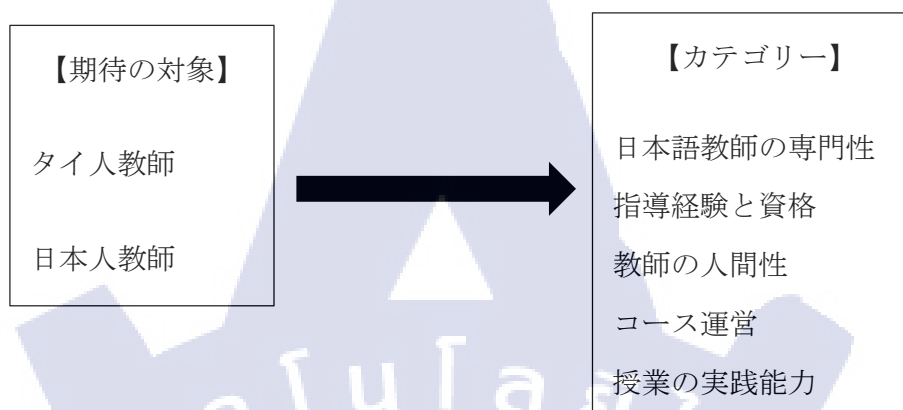


図1 研究の枠組み

本研究では、学習者がタイ人教師と日本人教師のそれぞれに対して持っている期待を調査し、その差異を分析するため、期待の対象をタイ人教師と日本人教師に分けている。

カテゴリーは縫部他(2006)が行った研究のアンケート調査の結果を参考にした。縫部他(2006)のアンケート調査では、日本語教師の行動特性に関して、5つの因子が抽出された。本研究では、それらの因子を参考にし、上記の5つのカテゴリーに分けてアンケート調査を実施した。

1.6 寄与

1.6.1 学習者がタイ人教師と日本人教師のそれぞれにどのような期待をしているのかを知ることができる。

1.6.2 タイ人教師と日本人教師のそれぞれの期待を知ることによって、それぞれの特性を生かした、授業運営をすることができるだろう。

1.6.3 タイ人教師と日本人教師へのそれぞれの期待を知ることによって、今後のコース運営や授業運営の改善につながるだろう。

1.7 仮説の定義

仮説 1：日本語教師の専門性についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

日本語教師が持つ専門性の期待についてタイ人教師と日本人教師との間で差異が見られるという仮説である。

仮説 2：指導経験と資格についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

日本語教師が持つ教授指導経験や日本語教育や日本語能力に関する資格の期待についてタイ人教師と日本人教師との間で差異が見られるという仮説である。

仮説 3：教師の人間性についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

教師の性格や教室内外での振る舞いに関する期待にタイ人教師と日本人教師との間で差異が見られるという仮説である。

仮説 4：コース運営についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

授業づくりなどのコース運営への期待にタイ人教師と日本人教師との間で差異が見られるという仮説である。

仮説 5：授業の実践能力についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

授業内での教師としての能力に対しての期待がタイ人教師と日本人教師との間で差異が見られるという仮説である。

第2章 先行研究

本章では、学習者が持つ教師への期待を調査する上で、望ましい日本語教師の資質とは何か、また学習者が持つ教師像についてどのような調査報告があるのか見ていく。

2.1 望ましい日本語教師の資質

海外における日本語教師にはどのような資質が望まれるのだろうか。まず、平畑(2008)はウズベキスタン・韓国・台湾・中国・ロシアの主要な日本語教育機関に所属する日本語教育者を対象に、日本語母語話者教師が今後果たすべき役割について反構造化インタビューを行い、グラウンデッド・セオリーを応用して分析を行った。その結果、「教育能力」「人間性」「国際性」がほぼ同等に重要視されていることが分かった。「教育能力」に関しては、実際に学習者の指導が行えて、学習者との好ましい関係が築けるかどうか重視されている。ここでの指導とは具体的に、「発音指導」「作文指導」「誤用修正」などである。「人間性」に関しては、「人柄のよさ」「コミュニケーション能力」「対等性」が重視され、中でも「対等性」についての意見が多く、「日本人と日本人以外を分けない」「議論・話し合いを重視する」といった意見が出された。「国際性」に関しては、「現地の実情と文化への理解」「適応」「現地語能力への要求」の意見が見られた。現地の言語能力を問われていることから、母語話者教師は一定期間滞在する存在ではなく、積極的に関与する「一員」として期待されているということと述べられている。これらのことから、日本語母語話者教師には、母語話者教師として、日本語の音声規範や言語規範となることはもちろん、「日本人」を保持しつつ現地と深く関わりあうことが求められていることが分かる。

また、平畑(2007)は、海外での日本語教育経験を持つ日本語母語話者教師を対象にアンケート調査を行い、海外での活動に必要とされる資質について分析を行った。その中で、最も重要とされた項目が「柔軟性」「現地の文化・価値観の理解と受容」

「生活適応能力」などといった現地への適応に必要な資質だと明らかになっている。そして平畑は因子分析を行い、「意欲」「人間性」「教育能力」「コーディネート能力」「国際感覚」「人間性」の6つの因子を抽出した。これら6つのうち、前者の3つは「日本語教師に常に必要な3つの資質」であり、国内外を問わずに日本語教師として基本的で必須の資質と言える。後者の3つは「特に海外で必要な3つの資質」であり、海外において効果的に活動するために必要とされる資質と考えられる。しかし、これら6つの資質は独立するわけではなく、相互に関係しあっていると考えられ、意欲と人間性を高めることで、海外での活動において必要となる、コーディネート能力や国際感覚の獲得につながるといったことが推測されている。

また、古別府(2009)はタイの中等教育機関の高校日本語教師を対象に日本語教師に求められる行動特性に関する質問紙調査を行った。分析の結果、「専門性と指導経験」「強い教職意識と思いやり」「授業における実践能力」「外国語学習の経験と学位」の4つの因子が抽出された。そのうち、「強い教職意識と思いやり」が最も高いとされた。これらのことから、タイの中等教育機関では、思いやりがあり、教師としての自覚をもち、学習者の理解に配慮した授業運営と評価能力のある日本語教師を重要視していることが明らかとなった。

以上の3つの研究から、海外で活動する日本語教師に求められる資質は主に「人間性」「日本語教師としての教育能力」「国際性」であることがわかる。では、次に学習者が望む日本語教師像について見ていく。

2.2 学習者が望む日本語教師像

縫部他(2006)は学習者が考える「優れた」日本語教師の行動特性の特徴を分析するため、ニュージーランド、韓国、中国、タイ、台湾などの7つの国と地域の大学で質問紙調査を行った。その結果、「日本語教師の専門性」「指導経験と資格」「教師の人間性」「コース運営」「授業の実践能力」の5つの因子が抽出された。この中で、すべての国で最も高く評価された因子が「日本語教師の専門性」であり、最も低く

評定された因子が「指導経験と資格」であった。このことから、「優れた」日本語教師の評価には、日本語教師の専門性や資格・経験に加えて、コース運営能力も評価されており、授業において学習者とかかわる能力や楽しくて面白い授業づくりができる人間性も位置付けられていると述べられている。そして、「指導経験と資格」については学習者にとってそれほど重要視されていないことが分かった。

また、Sarany・吉田(2012)の研究では、タイのチェンマイ大学で日本語を学習する学生を対象にチーム・ティーチングにおける日本語母語話者教師と非日本語母語話者教師の役割について質問紙調査で研究を行った。この研究により、学習者は文法指導と学習法の指導、フィードバックについてはタイ人教師にタイ語での説明を期待していることが証明された。一方で、単語の発音指導や会話指導では日本人教師による指導を希望する回答が高かった。つまり、学習者は非母語話者教師よりも母語話者教師に日本語の音声的モデルとして指導を求めていると言える。タイ人教師と日本人教師とはっきりしてしない項目として、文化・社会の紹介、作文の指導、ひらがな・カタカナの書き方指導などが見られた。これらのことから、学習者は教師の役割として日本語母語話者教師には会話・発音指導、非日本語母語話者教師には文法・学習法の説明を求めていることが分かった。これらの役割を教師それぞれが意識して実践していくことで、学習者にとって有益なチーム・ティーチングに繋がると述べている。

同様に、学習者が考える日本語母語話者教師と非日本語母語話者教師それぞれに対するよい教師像に関する研究に櫻井(2012)がある。櫻井(2012)はエジプトの日本語学習者を対象に質問紙調査を実施した。この調査により、日本語母語話者教師には、学習者と適切に関わることができる、親しみやすい人間性である、専門や言語教育に関わる知識と経験を身に着けていること、日本語使用者・教師として良い模範となる、さまざまな教育技能を備えていることが「よい教師像」の資質であると学習者が考えている示唆している。対して非日本語母語話者には、学習者への理解、適切に授業を行う技能を備えていること、深い知識と豊かな経験を持つことが「よい教師像」と考えていることが示唆されている。また、ほとんどの質問項目で平均値が日本語母語話

者教員の方が統計的に有意に高いという結果が出たことで、エジプト人学習者は日本語母語話者教師に対して、より高い理想の「よい教師像」を抱いているということが明らかとなった。

以上の先行研究から、学習者は教師に対して、日本語教育の専門性、親しみやすい人間性を求めていることが分かった。また、日本語母語話者教師に対しては音声・会話などにおける日本語使用者として模範的な存在、非日本語母語話者に対しては学習者への理解、文法・学習法の説明を求めていることが分かった。これらの結果を踏まえ、TNI の JPN の学生は日本語母語話者教師と非日本語母語話者教師に対してどのような期待を抱いているのかを明らかにする。

The logo of the Thai-Nichi Institute of Technology (TNI) is a large, light blue gear-like circle. Inside the circle, the letters "TNI" are written in a large, red, serif font. The Thai text "สถาบันเทคโนโลยีไทย-ญี่ปุ่น" is written in white along the top inner edge of the gear, and "THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY" is written in white along the bottom inner edge.

TNI

第3章 方法論

本章では、調査に際し、調査対象者についての情報、使用した調査方法、分析の手法、統計データについてまとめる。

本研究の質問項目は縫部他(2006)で用いられた調査紙をもとにタイ語版のアンケートを作成した。縫部等(2006)の研究は学習者が日本語教師に期待する資質についてであり、本研究と共通点があったためである。質問項目は、タイ人教師に関する項目が30項目、日本人教師に関する項目が27項目である。

3.1 データ収集

3.1.1 母集団

TNI の JPN では情報学部・経営学部・工学部の学生が日本語を勉強している。本調査では JPN101 から JPN301 を勉強する学生 1,679 名を対象に調査を行った。

3.1.2 標本数

JPN101 から JPN301 の学生 1,679 名にアンケート調査を行い、回収できた回答は 601 名であった。回収率は 35.8% である。

次頁の Krejcie&Morgan(1970)の計算式で推奨されている数値は母集団 1,700 名に対しサンプル数は 313 名である。本調査では、母集団 1,679 名に対し 601 名の回答を得られたため、推奨される値を上回っていると言える。

$$s = X^2 NP(1-P) \div d^2 (N-1) + X^2 P(1-P).$$

s = required sample size.

X^2 = the table value of chi-square for 1 degree of freedom at the desired confidence level (3.841).

N = the population size.

P = the population proportion (assumed to be .50 since this would provide the maximum sample size).

d = the degree of accuracy expressed as a proportion (.05).

表 1 サンプル数の定義 (Krejcie&Morgan)

<i>N</i> 母集団	<i>S</i> サンプル数
1,600	310
1,700	313
1,800	317
1,900	320
2,000	322

3.2 分析方法

3.2.1 アンケート構成

まず、フェイスシートに性別・学年・学部・日本語学習歴の質問を設けた。次に、日本語教師に期待することの質問を、タイ人教師について 30 問、日本人 27 問をそれぞれ先述の 4 つのカテゴリーに分けて設けた。質問には、「1：全く求めない」、「2：あまり求めない」、「3：どちらでもない」、「4：求める」、「5：とても求める」の 5 件法で回答を求めた。

結果の分析方法については各質問項目の平均値を表 1 の値で評価し、分析した。

表 2 平均値の評価基準

平均値	評価
4.21-5.00	A(とても高い)
3.41-4.20	B(高い)
2.61-3.40	C(どちらでもない)
1.81-2.60	D(低い)
1.00-1.80	E(とても低い)

本調査では、統計プログラムソフト (SPSS) を使用しデータの集計を行った。さらにデータは記述統計と推測統計を用いて分析を行った。記述統計は調査対象者の情報をパーセンテージを使用しての要約や、アンケートの各項目の平均値、標準偏差の分析において用いた。推測統計は仮説検証において、対応のある *t* 検定を使用し、タイ人教師と日本人教師への期待の間に有意差が見られるのかについての分析に用いた。

3.2.2 アンケートの内容

以下の表 3・4 はアンケートの質問項目である。なお、アンケート調査を実施した際は、タイ語のみを記載した。

表 3 タイ人教師に関する質問項目

日本語教師の専門性 ความเชี่ยวชาญในการสอนภาษาญี่ปุ่นของผู้สอน	
1	外国語としての日本語教授法に精通している。 ผู้สอนมีความคุ้นเคยในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาต่างประเทศ
2	学習者からの質問に即座に答えられる。 ผู้สอนสามารถตอบคำถามของผู้เรียนได้ทันที
3	学習者の発音上の間違いを適切に直せる。 ผู้สอนสามารถแก้ไขสำเนียงในการพูดของผู้เรียนได้
4	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。 ผู้สอนสามารถแก้ไขไวยากรณ์ที่ผิดของผู้เรียนได้
5	試験(JLPT など)についての知識が豊富である。 ผู้สอนมีความรู้เกี่ยวกับเนื้อหาในการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น (JLPT เป็นต้น)
6	日本語と母語の違いをよく知っている。 ผู้สอนสามารถอธิบายจุดที่เหมือน และแตกต่างกันของภาษาไทยกับภาษาญี่ปุ่นได้
7	正しい発音やアクセントで流ちょうに話せる。 ผู้สอนใช้สำเนียงในการสอนภาษาที่ไม่ผิดเพี้ยนและสามารถพูดได้อย่างคล่องแคล่ว
指導経験と資格 ประสบการณ์และคุณวุฒิในการสอน	
8	修士またはそれ以上の学位を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีคุณวุฒิระดับปริญญาโทขึ้นไป
9	日本語の教授経験が長いことに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีประสบการณ์ในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นระยะเวลานาน
10	日本語教育に関する資格を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีใบประกอบวิชาชีพการสอนภาษาญี่ปุ่น
11	学習者だった時の経験を活かして教えることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่สามารถถ่ายทอดเทคนิคการเรียนรู้ภาษาญี่ปุ่น สมัยที่ผู้สอนยังเป็นผู้เรียนอยู่ให้เข้าใจได้

表 3 タイ人教師に関する質問項目 (続)

12	日本への留学経験があることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่เคยมีประสบการณ์ไปแลกเปลี่ยนที่ประเทศญี่ปุ่น
13	日本語能力試験(JLPT)で N1 に合格していることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีผลสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น(JLPT)ระดับ N1
教師の人間性 ลักษณะนิสัยของผู้สอน	
14	教室外でも話しやすいと親しみやすさを感じる。 สามารถพูดคุยกับผู้สอนอย่างสนิทสนม แม้จะเป็นนอกห้องเรียนก็ตาม
15	授業を楽しくする。 ผู้สอนทำให้คาบเรียนสนุก ไม่น่าเบื่อ
16	すべての学習者に公平である。 ผู้สอนมีความยุติธรรม ดูแลนักศึกษาเท่า ๆ กัน
17	日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。 ผู้สอนให้คำปรึกษาในเรื่องอื่น ๆ นอกจากภาษาญี่ปุ่นได้
18	学習者をほめたり、励ましたりする ผู้สอนมีการชื่นชม และให้กำลังใจผู้เรียนอยู่เสมอ
19	教師として威厳のある態度で学習者に接する。 ผู้สอนมีภาพลักษณ์ที่ดูน่าเชื่อถือ
コース運営 การจัดการแผนการสอน	
20	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。 ผู้สอนมีการใช้สื่อการสอนที่หลากหลาย เช่น ภาพประกอบการสอน หรือ แบบฝึกหัดฟัง เป็นต้น
21	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。 ผู้สอนทำให้บรรยากาศในห้องเรียนมีความเป็นกันเอง
22	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่ฝึกการสื่อสาร
23	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่เน้นทำเป็นคู่หรือทำเป็นกลุ่ม

表 3 タイ人教師に関する質問項目 (続)

授業の実践能力 การนำความรู้มาประยุกต์ใช้ในห้องเรียน	
24	学習者に日本語で話すことを促す。 ผู้สอนพยายามให้นักศึกษาฝึกการใช้ภาษาญี่ปุ่นในการพูดคุย
25	日本語だけで授業をする。 ผู้สอนใช้เพียงภาษาญี่ปุ่นในการสอนเท่านั้น
26	日本人の考え方や思考方法を理解している。 ผู้สอนมีความเข้าใจวิธีการคิดของคนญี่ปุ่น
27	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる。 ผู้สอนสามารถแนะนำการ์ตูน, ซีรีส์, หรือเพลงญี่ปุ่นได้
28	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある。 ผู้สอนมีความเข้าใจถึงวัฒนธรรม ประเพณี และประวัติศาสตร์ของญี่ปุ่น
29	文法や語彙を学習者の母語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาไทยในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้
30	文法や語彙を日本語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาญี่ปุ่นในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้

表 4 日本人教師に関する質問項目

日本語教師の専門性 ความเชี่ยวชาญในการสอนภาษาญี่ปุ่นของผู้สอน	
1	外国語としての日本語教授法に精通している。 ผู้สอนมีความคุ้นเคยในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาต่างประเทศ
2	学習者からの質問に即座に答えられる。 ผู้สอนสามารถตอบคำถามของผู้เรียนได้ทันที
3	学習者の発音上の間違いを適切に直せる。 ผู้สอนสามารถแก้ไขสำเนียงในการพูดของผู้เรียนได้
4	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。 ผู้สอนสามารถแก้ไขไวยากรณ์ที่ผิดของผู้เรียนได้
5	試験(JLPT など)についての知識が豊富である。 ผู้สอนมีความรู้เกี่ยวกับเนื้อหาในการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น (JLPT เป็นต้น)

表 4 日本人教師に関する質問項目 (続)

6	日本語と母語の違いをよく知っている。 ผู้สอนสามารถอธิบายจุดที่เหมือน และแตกต่างกันของภาษาไทยกับภาษาญี่ปุ่นได้
7	正しい発音やアクセントで流ちょうに話せる。 ผู้สอนใช้สำเนียงในการสอนภาษาที่ไม่ผิดเพี้ยนและสามารถพูดได้อย่างคล่องแคล่ว
指導経験と資格 ประสบการณ์และคุณวุฒิในการสอน	
8	修士またはそれ以上の学位を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีคุณวุฒิระดับปริญญาโทขึ้นไป
9	日本語の教授経験が長いことに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีประสบการณ์ในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นระยะเวลานาน
10	日本語教育に関する資格を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีใบประกอบวิชาชีพการสอนภาษาญี่ปุ่น
教師の人間性 ลักษณะนิสัยของผู้สอน	
14	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる。 สามารถพูดคุยกับผู้สอนอย่างสนิทสนม แม้จะเป็นนอกห้องเรียนก็ตาม
15	授業を楽しくする。 ผู้สอนทำให้คาบเรียนสนุก ไม่น่าเบื่อ
16	すべての学習者に公平である。 ผู้สอนมีความยุติธรรม ดูแลนักศึกษาเท่า ๆ กัน
17	日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。 ผู้สอนให้คำปรึกษาในเรื่องอื่น ๆ นอกจากภาษาญี่ปุ่นได้
18	学習者をほめたり、励ましたりする。 ผู้สอนมีการชื่นชม และให้กำลังใจผู้เรียนอยู่เสมอ
19	教師として威厳のある態度で学習者に接する。 ผู้สอนมีภาพลักษณ์ที่ดูน่าเชื่อถือ
コース運営 การจัดการแผนการสอน	
20	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。 ผู้สอนมีการใช้สื่อการสอนที่หลากหลาย เช่น ภาพประกอบการสอน หรือ แบบฝึกหัดฟัง เป็นต้น

表 4 日本人教師に関する質問項目 (続)

21	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。 ผู้สอนทำให้บรรยากาศในห้องเรียนมีความเป็นกันเอง
22	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่ฝึกการสื่อสาร
23	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่เน้นทำเป็นคู่หรือทำเป็นกลุ่ม
授業の実践能力 การนำความรู้มาประยุกต์ใช้ในห้องเรียน	
24	学習者に日本語で話すことを促す。 ผู้สอนพยายามให้นักศึกษาฝึกการใช้ภาษาญี่ปุ่นในการพูดคุย
25	日本語だけで授業をする。 ผู้สอนใช้เพียงภาษาญี่ปุ่นในการสอนเท่านั้น
26	日本人の考え方や思考方法を理解している。 ผู้สอนมีความเข้าใจวิธีการคิดของคนญี่ปุ่น
27	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる。 ผู้สอนสามารถแนะนำการ์ตูน, ซีรีส์, หรือเพลงญี่ปุ่นได้
28	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある。 ผู้สอนมีความเข้าใจถึงวัฒนธรรม ประเพณี และประวัติศาสตร์ของญี่ปุ่น
29	文法や語彙を学習者の母語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาไทยในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้
30	文法や語彙を日本語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาญี่ปุ่นในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้

3.2.3 質問項目の妥当性

本調査の質問項目は、縫部等(2006)で用いられた調査紙をもとにタイ語版のアンケートを作成した。まず、質問項目をタイ語に翻訳し、再度日本語に訳しタイ語訳を確認した。また、翻訳の際には、なるべく一般的な語彙を使用するように配慮した。

縫部等(2006)の調査紙は41項目の質問から構成されているが、本調査では41項目から削除・追加を行い、タイ人教師についての質問を30項目、日本人教師についての質問を27項目の計57項目の質問票を作成した。両教師間で調査項目は統一したほうがいいと考え、タイ人、日本人について同じ質問を行ったが、タイ人教師についてはJLPTや留学に関する質問を3項目作成したため、タイ人教師についての質問が日本人教師に関する質問よりも多くなっている。アンケートは「日本語教師の専門性」、「指導経験と資格」、「教師の人間性」、「コース運営」、「授業の実践能力」の5つのカテゴリーに分けた。このカテゴリーは第1章でも述べたとおり、縫部他(2006)を参考にした。また、タイ人、日本人教師についての質問の最後にそれぞれ自由記述も作成した。内容の妥当性についてはHarkness他(2004)に基づき検証を行い、相違がなかった。

また、The Item-Objective Congruence (IOC) は、-1 から+1 までのスコア範囲に基づいてアンケートの項目を評価するために使用した。評価の基準は適切である項目には1点、不適切な項目は-1点、どちらでもない項目は0点とし、本アンケート項目の評価の結果においては以下のとおりである。

1点が24項目、0点が5項目、-1点は1項目、計算式は $(24-1)/30=0.766$ となり、最低評価点は0.5であるため、0.766は適切であるとみなされた。

3.3 信頼性分析

Cronbachのアルファ係数を使用し各項目の信頼性分析を行った。表5がタイ人教師についての信頼分析の結果、表6が日本人教師についての信頼分析の結果である。分析にはSPSSを使用した。表5のアルファ係数は、.805から.895であるため、Nunnally, J., & Bernstein, I., (1994) が推奨する最小許容レベル0.70を上回っている。表6もアルファ係数が、.817から.919であるため、最小許容レベルを上回っているといえる。

表 5 信頼性分析(タイ人について)

カテゴリー	タイ人教師		
	Cronbach のアルファ	標準化された項目に 基づいた Cronbach のアルファ	質問数
日本語教師の専門性	.895	.897	7
指導経験と資格	.852	.849	6
教師の人間性	.882	.884	6
コース運営	.805	.823	4
授業の実践能力	.855	.861	7
合計	.944	.946	30

表 6 信頼性分析(日本人について)

カテゴリー	日本人教師		
	Cronbach のアルファ	標準化された項目に 基づいた Cronbach のアルファ	質問数
日本語教師の専門性	.901	.905	7
指導経験と資格	.817	.820	3
教師の人間性	.919	.919	6
コース運営	.845	.856	4
授業の実践能力	.881	.887	7
合計	.954	.957	27

第4章 データ分析

本章では学生がタイ人日本語教師と日本人日本語教師のそれぞれに期待することに関する調査の結果を以下の3つの観点から分析する

4.1 調査対象者

4.2 タイ人日本語教師と日本人日本語教師のそれぞれに対して期待すること

4.3 仮説検証：タイ人教師と日本人教師に対する期待の差異

4.1 調査対象者

本調査では TNI で JPN101、201、301 を勉強する学生を対象にアンケート調査を実施し、601 名からの回答を得られた。本調査は 2020 年 7 月下旬に GoogleForm を使用して実施した。フェイスシートには性別、学年、学部、日本語学習歴の回答を求めた。

4.1.1 性別

表 7 性別

	人数	割合
男	350	58.24
女	251	41.76
合計	601	100.00

表 7 は性別に関する回答者の割合を示している。男性の回答が 350 名で全体の 58.24%を占めており、続いて女性の回答が 251 名で全体の 41.76%である。

4.1.2 学年

表 8 学年

	人数	割合
1 年生	188	31.28
2 年生	235	39.10
3 年生	156	25.96
4 年生	10	1.66
4 年生以上	12	2.00
合計	601	100.00

表 8 は学年に関する回答者の割合を示している。最も多い回答となったのは、2 年生の 235 名であり、全体の 39.10%を占めている。続いて多かったのが、1 年生で 188 名の 31.28%である。そして、3 年生が 156 名の 25.96%、4 年生以上が 12 名の 2.00%、4 年生が 10 名の 1.66%である。本調査は、JPN の 1 年生から 3 年生の授業内でアンケートを実施したが、再履修や留年している学生も履修しているため、4 年生及び 4 年生以上の回答の割合が 3.66%となった。

4.1.3 学部

表 9 学部

	人数	割合
情報学部	276	45.92
経営学部	183	30.45
工学部	142	23.63
合計	601	100.00

表 9 は学部に関する回答者の割合を示している。最も多い回答は、情報学部の 276 名であり、全体の 45.92%を占めている。次に、経営学部が 183 名で 30.45%であり、工学部が 142 名で 23.63%である。

4.1.4 日本語学習歴

表 10 日本語学習歴

	人数	割合
1 年未満	162	26.96
1 年以上 2 年未満	195	32.45
2 年以上 3 年未満	144	23.96
3 年以上	100	16.64
合計	601	100.00

表 10 は日本語学習歴に関する回答者の割合を示している。最も多い回答は 1 年以上 2 年未満で 195 名であり、全体の 32.45%を占めている。続いて、1 年未満で 162 名の 26.96%、2 年以上 3 年未満で 144 名の 23.96%、3 年以上で 100 名の 16.64%である。以上の結果から、回答者の 73.05%が 1 年以上はタイ人・日本人日本語教師から日本語を教授されているということが分かる。1 年未満と答えた 26.96%が 1 年生と考えれば、タイ人・日本人日本語教師から日本語を教授されてから 1 か月ほどということである。

4.2 タイ人教師と日本人教師のそれぞれに対して期待すること

本調査では、学生がタイ人教師と日本人教師に対して期待することについて、アンケート調査を実施した。アンケートはタイ人教師について 30 項目、日本人教師について 27 項目の計 57 項目の質問と自由記述から構成されている。両教師間で質問項目は統一しているが、タイ人教師について JLPT や留学に関する質問を 3 項目追加したため、タイ人教師についての質問が日本人教師についての質問よりも多くなっている。

質問項目は、「日本語教師の専門性」、「指導経験と資格」、「教師の人間性」、「コース運営」、「授業の実践力」の5つのカテゴリーに分け、質問は、1(全く求めない)、2(あまり求めない)、3(どちらでもない)、4(求める)、5(とても求める)の5件法で回答を求めた。また、データ分析には統計プログラムソフト(SPSS)を使用した。各項目の平均値を以下の値で評価した。

表 11 平均値の評価基準

平均値	評価
4.21-5.00	A(とても高い)
3.41-4.20	B(高い)
2.61-3.40	C(どちらでもない)
1.81-2.60	D(低い)
1.00-1.80	E(とても低い)

4.2.1 日本語教師の専門性

表 12 日本語教師の専門性

日本語教師の専門性	タイ人教師			日本人教師		
	Mean	S.D	評価	Mean	S.D	評価
外国語としての日本語教授法に精通している。	4.01	.929	B	3.99	.892	B
学習者からの質問に即座に答えられる。	4.18	.827	B	4.16	.784	B
学習者の発音上の間違いを適切に直せる。	4.07	.880	B	4.22	.808	A
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。	4.33	.805	A	4.34	.758	A
試験(JLPT など)についての知識が豊富である。	4.14	.917	B	3.98	.940	B
日本語と母語の違いをよく知っている。	4.22	.865	A	4.15	.858	B
正しい発音やアクセントで流暢に話せる。	4.10	.858	B	4.21	.783	A
平均値	4.15	.681	B	4.15	.661	B

表 12 は日本語教師の専門性に関する調査結果である。このカテゴリー内で最も平均値の高かった項目は、タイ人教師、日本人教師ともに「学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。(タイ人教師：4.33、日本人教師：4.34)」であった。次いで、タイ人教師について高い平均値となったのは「日本語と母語の違いをよく知っている。(4.22)」となった。その次に高かったのは、「学習者からの質問に即座に答えられる。(4.18)」であった。日本人教師については「学習者の発音上の間違いを適切に直せる。(4.22)」が2番目に高い項目であり、その次に高かったのが、「正しい発音やアクセントで流ちょうに話せる。(4.21)」であった。これらの結果から、学習者はタイ人教師にも日本人教師にも文法の知識を持っていることを最も期待していることが分かる。さらに、タイ人教師には日本語についての知識を十分に持っていてタイ語との差異について理解していること、日本人教師には正確に日本語を発音するモデルとして期待していることが分かる。

一方で、平均値が低い項目となったのが、タイ人教師については、「外国語としての日本語教授法に精通している。(4.01)」、「学習者の発音上の間違いを適切に直せる。(4.07)」であった。日本人教師については、「試験(JLPT など)についての知識が豊富である。(3.98)」、「外国語としての日本語教授法に精通している。(3.99)」が平均値が低い結果となった。タイ人教師と日本人教師ともに「外国語としての日本語教授法に精通している。」が低いことから学習者は日本教授法についてそれほど重要視していないことが分かる。

しかし、このカテゴリーは5つのカテゴリーの中で2番目に高い平均値と評価であることから、学習者は教師の日本語教育の専門性に対して比較的高い期待を持っていると言える。

4. 2. 2. 指導経験と資格

表 13 指導経験と資格

指導経験と資格	タイ人教師			日本人教師		
	Mean	S.D	評価	Mean	S.D	評価
修士またはそれ以上の学位を持っていることに期待する。	2.88	1.076	C	3.08	1.110	C
日本語の教授経験が長いことに期待する。	3.63	.972	B	3.69	.941	B
日本語教育に関する資格を持っていることに期待する。	3.62	1.069	B	3.65	1.006	B
学習者だった時の経験を活かして教えることに期待する。	4.27	.882	A	—	—	—
日本への留学経験があることに期待する。	3.38	1.081	B	—	—	—
日本語能力試験(JLPT)で N1 に合格していることに期待する。	3.29	1.082	C	—	—	—
平均値	3.51	.780	B	3.47	.873	B

表 13 は指導経験と資格に関する調査結果である。このカテゴリーではタイ人教師に関する質問項目を 3 つ追加した。このカテゴリー内で最も高い平均値となった項目は、タイ人教師については「学習者だった時の経験を活かして教える。(4.27)」、日本人教師については「日本語の教授経験が長い。(3.69)」となった。2 番目に高かった項目は、タイ人教師は「日本語の教授経験が長い。(3.63)」、日本人教師については、「日本語教育に関する資格を持っている。(3.65)」であった。

一方で、平均値が低い項目はタイ人教師と日本人教師ともに「修士またはそれ以上の学位を持っている。(タイ人：2.88、日本人：3.08)」であり、その次のタイ人教師については「日本語能力試験(JLPT)で N1 に合格している。(3.29)」、日本人教師については「日本語教育に関する資格を持っている。(3.65)」が低い項目であった。

これらの結果から、学習者は教師の学歴や資格の有無よりも経験を重視していることが分かる。しかし、標準偏差の値が全体的に高いことから、資格や経験への期待は個人差があるといえる。

このカテゴリーは5つのカテゴリーの中で全体の平均値がタイ人と日本人ともに最も低いことから、学習者は教師の指導経験や資格については重要視していないことが読み取れる。

4.2.3 教師の人間性

表 14 教師の人間性

教師の人間性	タイ人教師			日本人教師		
	Mean	S.D	評価	Mean	S.D	評価
教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる。	4.19	.840	B	4.14	.872	B
授業を楽しくする。	4.39	.792	A	4.30	.819	A
すべての学習者に公平である。	4.36	.810	A	4.25	.844	A
日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。	4.03	.933	B	4.04	.915	B
学習者をほめたり、励ましたりする。	4.15	.915	B	4.12	.896	B
教師として威厳のある態度で学習者に接する。	4.09	.892	B	4.10	.884	B
平均値	4.20	.687	B	4.16	.735	B

表 14 は教師の人間性に関する調査結果である。このカテゴリーで最も高い平均値だった質問項目は、タイ人教師と日本人教師ともに「授業を楽しくする。(タイ人：4.39、日本人：4.30)」であった。続いて高い数値となった項目もタイ人教師と日本人教師ともに「すべての学習者に公平である。(タイ人：4.36、日本人：4.25)」であり、評価も「A」であることから、学習者はこれら2つの項目に対して高い期待を持っているとわかる。

一方で、平均値が最も低い質問項目となったのが、タイ人教師と日本教師ともに「日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。(タイ人：4.03、日本人：4.04)」

であった。また、次に低い項目もタイ人教師と日本人教師ともに「教師として威厳のある態度で学習者に接する。(タイ人：4.09、日本人：4.10)」となった。

これらの結果から、学習者は教室内の教師の人間性に対して期待していることは、楽しく、公平であることであり、教師としての厳しさや近寄りがたい雰囲気などは期待していないことが分かった。また、「日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。」が低かった要因として、JPN の授業は学習者たちにとって副専攻という位置にあり JPN の教員と接する時間が少なく、主専攻として学習者たちがそれぞれ所属する経営学部・工学部・情報学部の教員の方がより親密であることが考えられる。

このカテゴリ全体の平均値は、タイ人教師が 4.20、日本人が 4.16 で評価が「B」であった。これは、5 つのカテゴリの中で最も高い数値である。学習者は日本語教師に対して人間性を最も重視していることが分かる。

4.2.4 コース運営

表 15 コース運営

コース運営	タイ人教師			日本人教師		
	Mean	S.D	評価	Mean	S.D	評価
絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。	4.11	.808	B	4.13	.822	B
教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。	4.34	.779	A	4.23	.858	A
コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。	3.98	.867	B	3.99	.880	B
ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。	3.60	1.119	B	3.68	1.072	B
平均値	4.01	.717	B	4.01	.754	B

表 15 はコース運営に関する調査結果である。このカテゴリで最も高い平均値となったのは、タイ人教師と日本人教師ともに「教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。(タイ人：4.34、日本人：4.23)」であった。そして、2 番目に高い質問項目は

「絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。(タイ人：4.11、日本人：4.13)」であった。

一方で、低い質問項目となったのが、「ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。(タイ人：3.60、日本人：3.68)」、「コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。(タイ人：3.98、日本人：3.99)」であった。

これらのことから、コース運営について学習者は雰囲気の良い教室づくり、さまざまな教材などを使用した飽きさせない授業運営を期待していることが分かる。また、ペアワークやグループワークを取り入れることについて平均値は低い結果となったが、標準偏差から個人差があると考えられる。

4.2.5 授業の実践能力

表 16 授業の実践能力

授業の実践能力	タイ人教師			日本人教師		
	Mean	S.D	評価	Mean	S.D	評価
学習者に日本語で話すことを促す。	4.05	.838	B	4.06	.849	B
日本語だけで授業をする。	3.19	1.068	C	3.44	1.082	B
日本人の考え方や思考方法を理解している。	3.83	.869	B	4.04	.880	B
日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる。	3.94	1.021	B	3.96	.967	B
日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある。	3.97	.862	B	4.08	.866	B
文法や語彙を学習者の母語で説明する。	4.18	.840	B	4.06	.949	B
文法や語彙を日本語で説明する。	4.00	.882	B	4.09	.892	B
平均値	3.88	.670	B	3.96	.710	B

表 16 は授業の実践能力に関する調査結果である。このカテゴリー内で平均値が最も高い質問項目となったのが、タイ人教師については「文法や語彙を学習者の母語で説明する。(4.18)」、日本人教師については「文法や語彙を日本語で説明する。

(4.09)」であった。その次に高い平均値となったのが、タイ人については「学習者に日本語を話すことを促す。(4.05)」、日本人については「日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある。(4.08)」となった。

一方で最も低い平均値となった質問項目は、タイ人教師と日本人教師ともに「日本語だけで授業をする。(タイ人：3.19、日本人：3.44)」であった。次に平均値が低い質問項目となったのが、タイ人については「日本人の考え方や思考方法を理解している。(3.83)」、日本人については「日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる。(3.96)」であった。

これらの結果から、学習者はタイ人教師には文法や語彙などの重点的な部分はタイ語で解説することを期待していることが分かった。日本人教師については、文法や語彙を日本語で説明することを期待しているが、日本語だけで授業することにはあまり期待していないことから、日本人教師にも授業内でタイ語を使ってほしいと期待していることが読み取れる。

4.2.6 その他

本調査のアンケートでは、タイ人教師と日本人教師についての質問項目の最後に任意のコメント記入欄を設けた。このコメント欄には質問項目以外で教師への期待することがある場合、記入してもらうようにした。すべてのコメントの中には本調査の目的以外のことも記入されていたが、ここでは教師への期待に関するコメントのみを以下に示す。また、以下に示すコメントは学習者がタイ語で記入したものを日本語に翻訳したものである。

「日本のアニメや歌に使われている文章を授業内に使用してほしい。」

男性・情報学部・2年生

「先生と日本語でたくさん話したい。」 女性・経営学部・3年生

「日本語を楽しく勉強したい。授業以外でも自分で日本語の勉強をしているが、授業の評価や周りとの比較でプレッシャーに感じてしまう。精神的な面でのケアをしてほしい。」 男性・経営学部・4年生以上

「(日本人の)先生にタイ語を理解して、タイ語で授業をしてほしい。」

女性・経営学部・2年生

「ゆっくり授業をしてほしい。」 男性・経営学部・2年生

「日本人との交流会を設けてほしい。」 男性・情報学部・2年生

「学生のことを理解して、よく励ましてほしい。」 女性・経営学部・2年生

「学生のレベルごとにクラスを分けてほしい。日本語がよくできる学生に合わせて、授業が速く進むと、プレッシャーに感じる。」 女性・経営学部・1年生

「学生に簡単に理解できる教え方をしてほしい。」 女性・経営学部・2年生

「教室内が騒がしくなった際に、全体を授業に集中させるようにしてほしい。」

女性・情報学部・3年生

「日本人教師の前にタイ人教師に教えてもらいたい。」 男性・工学部・2年生

これらのコメントから、教師の人間性において、勉強におけるプレッシャーの緩和を期待している意見がよく見られた。コース運営については、「日本人教師の前にタイ人教師に教えてもらいたい。」というコメントから、タイ人教師による文法解説の後に日本人教師との会話練習などを望んでいると考えられる。また、先生との日本語での会話機会の増加や日本人との交流の架け橋役を期待していることも読み取れた。

4.3 仮説検証：タイ人教師と日本人教師に対する期待の差異

次に、学習者のタイ人教師と日本人教師に対して抱いている期待の差異について仮説検証を行う。タイ人教師と日本人教師の2群でT検定を行い、分析する。

4.3.1 仮説 1

日本語教師の専門性についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

$H_0: \mu_{\text{タイ人}} = \mu_{\text{日本人}}$

$H_1: \mu_{\text{タイ人}} \neq \mu_{\text{日本人}}$

表 17 仮説 1

カテゴリー	Mean S.D		T 検定	df	Sig.
	タイ人	日本人			
日本語教師の専門性	4.15 .681	4.15 .661	.011	600	.991

日本語教師の専門性において有意確率は.991 であり、有意水準(.050)より高く、差異が見られないため、 H_0 は棄却されない。このカテゴリーでは、学習者はタイ人教師にも日本語教師にも同等の期待を寄せているということが分かった。

4.3.2 仮説 2

指導経験と資格についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

$$H_0 : \mu_{\text{タイ人}} = \mu_{\text{日本人}}$$

$$H_1 : \mu_{\text{タイ人}} \neq \mu_{\text{日本人}}$$

表 18 仮説 2

カテゴリー	Mean S.D		T 検定	df	Sig.
	タイ人	日本人			
指導経験と資格	3.51	3.47	1.584	600	.114
	.780	.873			

指導経験と資格において有意確率は.114 であり、有意水準(.050)より高く、差異が見られないため、 H_0 は棄却されない。このカテゴリーでは、学習者はタイ人教師にも日本語教師にも同等の期待を寄せているということが分かった。

TNI

THAI - NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

4.3.3 仮説 3

教師の人間性についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

$H_0 : \mu \text{ タイ人} = \mu \text{ 日本人}$

$H_1 : \mu \text{ タイ人} \neq \mu \text{ 日本人}$

表 19 仮説 3

カテゴリー	Mean S.D		T 検定	df	Sig.
	タイ人	日本人			
教師の人間性	4.20	4.16	2.036	600	.042
	.687	.735			

教師の人間性において有意確率は.042 であり、有意水準(.050)より低いことから差異が見られるため、 H_0 は棄却される。このカテゴリーにおいて、学習者のタイ人教師と日本語教師に向ける期待に差があり、日本人教師よりタイ人教師に向ける期待の方が高いことが認められる。

TNI

THAI - NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

4.3.4 仮説 4

コース運営についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

$H_0 : \mu \text{ タイ人} = \mu \text{ 日本人}$

$H_1 : \mu \text{ タイ人} \neq \mu \text{ 日本人}$

表 20 仮説 4

カテゴリー	Mean S.D		T 検定	df	Sig.
	タイ人	日本人			
コース運営	4.01	4.01	-.077	600	.939
	.717	.754			

コース運営において有意確率は.939 であり、有意水準(.050)より高く、差異が見られないため、 H_0 は棄却されない。このカテゴリーでは、学習者はタイ人教師にも日本語教師にも同等の期待を寄せているということが分かった。

TNI

THAI - NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

4.3.5 仮説 5

授業の実践能力についてタイ人教師と日本人教師への期待に差異が見られる。

$$H_0 : \mu \text{ タイ人} = \mu \text{ 日本人}$$

$$H_1 : \mu \text{ タイ人} \neq \mu \text{ 日本人}$$

表 21 仮説 5

カテゴリー	Mean S.D		T 検定	df	Sig.
	タイ人	日本人			
授業の実践能力	3.88	3.96	-4.189	600	.000
	.670	.710			

授業の実践能力において有意確率は.000 であり、有意水準(.050)より低いことから差異が見られるため、 H_0 は棄却される。このカテゴリーにおいて、学習者のタイ人教師と日本語教師に向ける期待に差があり、タイ人教師より日本人教師に向ける期待の方が高いことが認められる。

TNI

THAI - NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

第5章 結論と提案

5.1 調査結果の分析

5.1.1 4章の要約

本調査では、TNI の JPN101 から JPN301 を勉強する学生を対象にアンケート調査を行い、601 名から回答を得ることができた。

回答者の内訳は性別では、男性が 350 名、女性が 251 名である。学年別では、1 年生は 188 名、2 年生は 235 名、3 年生は 156 名、4 年生は 10 名、4 年生以上は 12 名である。学部別でみると、情報学部が 276 名、経営学部が 183 名、工学部が 142 名である。日本語学習歴では、1 年未満が 162 名、1 年以上 2 年未満が 195 名、2 年以上 3 年未満が 144 名、3 年以上が 100 名である。

アンケートの質問項目は 5 つのカテゴリーに分けた。カテゴリーごとの順位はタイ人教師と日本人教師ともに同じ順番となった。最も高い平均値となったのが、「教師の人間性」であった。その中でも「授業を楽しくする。」「すべての学習者に公平である。」といった授業内での教師の振る舞いに関する項目が高い平均値となった。対して、「教室外でも話やすく親しみやすさを感じる。」「日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。」「教師として威厳のある態度で学習者に接する。」は低いことから、JPN の学生は授業内の教師の振る舞いには重きを置いているが、授業外での教師の在り方についてはあまり重要視していないと考えれる。

次に高い平均値となったのが、「日本語教師の専門性」であった。タイ人教師と日本人教師ともに「学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。」であったことから、学習者は教師が母語話者であるか非母語話者であるかに関わらず両者に期待をしていることが分かった。この項目以外は、タイ人教師には「日本語と母語の違いをよく知っている。」「学習者からの質問に即座に答えられる。」を高く期待していることから、学習言語と母語との違い、また日本語を学習するうえで学習者が陥りやすい要点などを理解してほしいという期待だと推測できる。また、「指導経験と資格」のカテゴリーで「学習者だった時の経験を活かして教える。」が高いことから、日本語をよく理解している存在として期待していると考えられる。一方で、日本人教師には「学習者の発音上の間違いを適切に直せる。」「正しい発音やアクセントで流ちょうに話

せる。」を高く期待していることから、日本人教師を音声モデルとして重要視していると考えられる。

そして、3 番目に高い平均値となったのが、「コース運営」であった。このカテゴリー内で最も高い平均値となったのが、タイ人教師と日本人教師ともに「教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。」であった。これは、「教師の人間性」とも関わるとも考えられる。また、次に高い平均値を持つ「絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。」もさまざまな教材を使って授業をすることで学習者を飽きさないことから、「教師の人間性」にある「授業を楽しくする。」とつながると考えられる。一方で、このカテゴリー内では、「コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。」「ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。」は低い平均値となった。

アンケート調査結果の全体的な特徴として、授業内での教師の振る舞い、タイ人教師と日本人教師のそれぞれの特性の専門性に対する期待が高く、資格や日本語だけで行う授業にはそれほど期待しない傾向が見られた。これらは、タイ人教師にも日本人教師にも共通して言えることである。

The logo of the Thai-Nichi Institute of Technology (TNI) is a large, light blue gear-like circle. Inside the circle, the letters "TNI" are written in a large, red, serif font. The words "THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY" are written in a smaller, white, sans-serif font along the inner edge of the gear. The background of the page is white, and the text is in black.

5.1.2 仮説の要約

本研究では、学習者が持つ教師への期待についてタイ人教師と日本人教師との間で差異があるのかについて仮説検証を行った。表 21 は仮説検証をまとめたものである。

表 22 仮説検証のまとめ

仮説	Mean S.D		T検定	df	Sig.
	タイ人	日本人			
仮説1 日本語教師の専門性	4.15 .681	4.15 .661	.011	600	.991
仮説2 指導経験と資格	3.51 .780	3.47 .873	1.584	600	.114
仮説3 教師の人間性	4.20 .687	4.16 .735	2.036	600	.042
仮説4 コース運営	4.01 .717	4.01 .754	-.077	600	.939
仮説5 授業の実践能力	3.88 .670	3.96 .710	-4.189	600	.000

仮説 1 と仮説 4 はタイ人も日本人の数値も同じであり、有意差を見ても差異が見られないことが分かった。

仮説 2 では日本人教師よりタイ人教師の方が数値が高かったが、差異は見られなかった。

仮説 3 と仮説 5 には差異が見られた。仮説 3 では、タイ人教師の方が数値が高く、仮説 5 では、日本人教師の方が高かった。

これらの結果は一時点における数値であり、経過を追っているものではない。学習者の教師に対する期待は教師と接する機会や日本語学習時間の長さによって変化していくと考えられる。ある一定の間隔を空けて追跡調査を行うことで学習者が持つ教師への期待の変遷をより正確にとらえることができるだろう。また、本調査では単にタイ人教師への期待と日本人教師への期待の比較を行ったが、今後、学年や日本語学習歴などの属性による期待の差異を調査することで、日本語学習の時間による期待の差異も見られるだろう。これは今後の課題である。

5.2 提案

本調査では学習者の教師に対する期待を明らかにした。ここでは、今回のアンケート調査の結果をもとに、今後の授業の改善案として何ができるのか考えていく。

5.2.1 「日本語教師の専門性」について

このカテゴリーは5つのカテゴリーの中でも比較的高い平均値を持っている。その中でも「学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。」が最も高かった(タイ人：＝4.33, S.D＝805、日本人：＝4.34, S.D＝.758)。これは JPN ではタイ人教師も日本人教師も文法を教えていることから、両者に対して高い期待を持っていると考えられた。しかし、次に高い質問項目がタイ人教師は学習者への理解、日本人教師は音声モデルに関するものであった。これらのことから、授業の進め方を完全に変える必要はないが、学習者が求める両者の特性を活かして授業展開することで学習者の満足度を上げることができるのではないだろうか。

5.2.2 「指導経験と資格」について

このカテゴリーはカテゴリー内で最も低い平均値となった。しかし、学習者は、教師の資格や学位よりも日本語の教授経験や学習経験を重視していることが分かった。学習者は日本語教師に関する資格や JLPT の N1 に関する知識が浅いためこのような結果となったと推測出来る。学習者は必ずしも資格の知識を持つ必要はないため、この項目に関しては今後数値を上げることが難しい。しかし経験に関しては、今後、授業をするうえで経験を活かすことを意識することでこの数値は上がるのではないだろうか。

5.2.3 「教師の人間性」について

このカテゴリーは最も高い平均値となり、タイ人教師と日本人教師との間で有意差も出たカテゴリーとなった。授業内での振る舞いに関する項目は平均値の評価が A であったが、授業外での交流などの項目に関しては低い結果となった。これは、日常的に学習者と JPN の教師は日本語の授業以外での交流があまりないため、この結果となったと考えられる。また、学習者はそれぞれの学部にも所属しており、その学部の

教師との交流が深いと考えられる。授業外での日本語教師との交流を増やしたり、親しみやすい関係を作るように意識することで学習者の期待も上がると考える。

5.2.4 「コース運営」について

このカテゴリーではタイ人教師と日本人教師の間で有意差は見られず、各質問項目を見ても平均値にも差がほとんど見られなかった。コミュニケーションに関する項目が低くなったが、学習者が日本語をアウトプットするうえで消極的な気持ちを抱いているからではないかと考えられる。教師は、コミュニケーション練習をする際に学習者の自信を損なわずに、フィードバックをしたり励ましたりすることが重要であろう。これは、よく励ましたり、教室内を和ませることも必要であることから、「教師の人間性」にも関係してくると考えられる。

また、このカテゴリーに関しては、質問項目にコミュニケーションやグループワーク重視の授業についての質問を取り入れたが、それと対となる作文重視であることや文法重視の授業に関する質問を取り入れなかった。今後、追跡調査をする場合には質問項目に追加することで、差異が見られるようになると推測できる。これは今後の課題であり、アンケート調査を作成するうえでの改善案である。

5.2.5 「授業の実践能力」について

このカテゴリーは比較的低い平均値となったが、タイ人教師と日本人教師との間で有意差が見られたカテゴリーである。学習者は教師が日本語もしくは学習者の母語で文法や語彙の説明をすることを期待しているようであるが、日本語だけで授業することにはタイ人教師と日本人教師に対しても消極的であることから、タイ人教師にはもちろん、日本人教師にもタイ語を習得してほしいと考えているのではないかと推測できる。日本人教師もタイ語を習得することで、学習者や学習者の文化を理解していると示すことができるのではないだろうか。また、それが学習者のモチベーションの向上にも繋がるのではないかと考える。また、日本語の使用を促すことに関しては、先述と同様に、適切なフィードバックや励ましをすることで、自信につながり、数値も上がると考えられるため、「教師との人間性」にもつながると考えられる。

5.2.6 今後の課題

本研究では、TNI の JPN を勉強する学生を対象に日本語教師への期待について調査を行った。その結果、タイ人教師と日本人教師への期待で共通していたのが、楽しく授業をするなどといった人間性であった。そして、タイ人教師には同じ日本語を学習するものとしての理解が高く期待されており、日本人に対しては発音や自然な日本語を話す音声モデルとして高く期待されていることが分かった。しかし、本研究では学習者を属性ごとに分けずに、単なるタイ人教師と日本人教師への期待の差異を比較し、分析を行った。日本語学習歴や学年といった日本語に触れた時間の長さによっても教師に対する期待は変化していくと推測できるため、属性ごとの分析も必要と考える。また、質問項目にも課題が見られたため、再度、見直し、追加・削除作業をする必要がある。

The logo of the Thai-Nichi Institute of Technology (TNI) is a large, light blue gear-like circle. Inside the circle, the letters "TNI" are written in a large, red, serif font. The Thai text "สถาบันเทคโนโลยีไทย-ญี่ปุ่น" is written in white along the top inner edge of the gear, and the English text "THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY" is written in white along the bottom inner edge. The entire logo is centered on the page.

TNI

参考文献

TNI

参考文献

櫻井勇介(2012)「母語話者教員と非母語話者教員に対する学習者の「よい教師」像：エジプト人日本語学習者の場合」『日本語・日本学研究』第2号 pp. 17～32

東京外国語大学国際日本研究センター

サランヤ コンジット・吉田直子(2012)「ティーム・ティーチングにおけるネイティブ教師とノンネイティブ教師の役割分担：チェンマイ大学初級日本語クラスのタイ人学習者の期待」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』第9号 pp. 129～137 国際交流基金バンコク日本文化センター

中川良雄(2020)「海外で求められるネイティブ／ノンネイティブ日本語教師の資質・能力と「優れた」日本語授業」『無佐』第27号 pp. 17～35

京都外国語大学日本語学科研究会

縫部義憲・渡部倫子・佐藤礼子・小林明子・家根橋伸子・顔幸月(2006)「学習者が求める日本語教師の行動特性の構成概念」『日本語教員養成における実践能力の養成と教育実習の理念に関する調査研究』pp. 94～103

畠山浩子(2012)「ベトナムで期待される日本人日本語教師像：日本語学科在籍学生へのアンケート調査から」『言語・地域文化研究』18巻 pp. 101～119

東京外国語大学大学院

林伸一(2010)「期待される日本語教師像について—外国人留学生の期待と教師の自己点検の課題—」『大学教育』第7号 pp. 57～68 山口大学大学教育機構

平畑奈美(2007)「海外で活動する日本人日本語教師に望まれる資質 -グラウンデッド・セオリーによる分析から-」『早稲田大学日本語教育研究』10巻 pp. 31～44 早稲田大学大学院日本語教育研究科

平畑奈美(2008)「アジアにおける母語話者日本語教師の新たな役割—母語話者性と日本人性の視点から」『世界の日本語教育』18巻 pp. 1～19 国際交流基金日本語事業部

平畑奈美(2010)「海外で活動する日本人日本語教師に望まれる資質の構造化--海外教育経験を持つ日本人日本語教師への質問紙調査から」『早稲田日本語教育学』第5号 pp. 15～29 早稲田大学大学院日本語教育研究科

古別府ひづる (2009) 「タイ中等教育機関の日本語教師が求める日本語教師の行動特性 : 探索的因子分析より」 『日本教科教育学会誌』 第 32 巻 第 1 号 pp. 21～30 日本教科教育学会

Harkness, J., Pennell, B.-E., & Schoua-Glusberg, A. (2004). **Methods for Testing and Evaluationg Survey Questionnaires**. USA: John Wiley & Sons, Inc.

Nunnally, J., & Bernstein, I., (1994). **Psychometric Theory**. New York: McGraw-Hill.

Robert V. Krejcie, Daryle W. Morgan. (1970). Determining Sample Size for Research Activities. **Educational and Psychological Measuremen**. 30: 607-610.

資料

TNI

学習者が求める日本語教師像に関するアンケート

แบบสอบถามเกี่ยวกับอาจารย์ผู้สอนภาษาญี่ปุ่นในอุดมคติที่ผู้เรียนคาดหวัง

このアンケートは、学生が TNI の日本人日本語教師とタイ人日本語教師のそれぞれにどのような期待をしているのかを調査するものです。このアンケートによって収集された情報はこの調査以外で使用されることはありません。

แบบสอบถามนี้จัดทำขึ้นเพื่อศึกษาค้นคว้าเกี่ยวกับอาจารย์ผู้สอนวิชาภาษาญี่ปุ่นชาวไทยและชาวญี่ปุ่นของสถาบันเทคโนโลยีไทย-ญี่ปุ่นที่ผู้เรียนคาดหวัง ซึ่งข้อมูลที่ได้จากแบบสอบถามนี้จะไม่ถูกนำไปทำอย่างอื่นนอกเหนือจากงานวิจัยนี้เท่านั้น

1. フェイスシート (Face sheet)

①性別 / เพศ

男性 / ชาย • 女性 / หญิง

②学年 / ชั้นปี

1 年生 / 1 • 2 年生 / 2 • 3 年生 / 3 • 4 年生 / 4 • 4 年生以上 / มากกว่า 4 ปีขึ้นไป

③学部 / คณะ

情報学部/เทคโนโลยีสารสนเทศ • 経営学部/บริหารธุรกิจ • 工学部/วิศวกรรมศาสตร์

④日本語学習歴/ประวัติในการเรียนภาษาญี่ปุ่น

1 年未満/น้อยกว่า 1 ปี • 1 年以上 2 年未満/มากกว่า 1 ปี แต่ไม่น้อยกว่า 2 ปี

2 年未満 3 年以上/มากกว่า 2 ปี แต่ไม่น้อยกว่า 3 ปี • 3 年以上/มากกว่า 3 ปีขึ้นไป

選択肢

1 全く求めない/ ไม่ต้องการเลย

2 あまり求めない/ ต้องการน้อย

3 どちらでもない/ ต้องการปานกลาง

4 求める/ ต้องการมาก

5 とても求める/ ต้องการมากที่สุด

タイ人教師について/ สิ่งที่คาดหวังจากอาจารย์ผู้สอนชาวไทย

日本語教師の専門性 ความเชี่ยวชาญในการสอนภาษาญี่ปุ่นของผู้สอน	
1	外国語としての日本語教授法に精通している。 ผู้สอนมีความคุ้นเคยในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาต่างประเทศ
2	学習者からの質問に即座に答えられる。 ผู้สอนสามารถตอบคำถามของผู้เรียนได้ทันที
3	学習者の発音上の間違いを適切に直せる。 ผู้สอนสามารถแก้ไขสำเนียงในการพูดของผู้เรียนได้
4	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。 ผู้สอนสามารถแก้ไขไวยากรณ์ที่ผิดของผู้เรียนได้
5	試験(JLPT など)についての知識が豊富である。 ผู้สอนมีความรู้เกี่ยวกับเนื้อหาในการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น (JLPT เป็นต้น)
6	日本語と母語の違いをよく知っている。 ผู้สอนสามารถอธิบายจุดที่เหมือน และแตกต่างกันของภาษาไทยกับภาษาญี่ปุ่นได้
7	正しい発音やアクセントで流ちょうに話せる。 ผู้สอนใช้สำเนียงในการสอนภาษาที่ไม่ผิดเพี้ยนและสามารถพูดได้อย่างคล่องแคล่ว
指導経験と資格 ประสบการณ์และคุณวุฒิในการสอน	
8	修士またはそれ以上の学位を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีคุณวุฒิระดับปริญญาโทขึ้นไป
9	日本語の教授経験が長いことに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีประสบการณ์ในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นระยะเวลานาน
10	日本語教育に関する資格を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีใบประกอบวิชาชีพการสอนภาษาญี่ปุ่น
11	学習者だった時の経験を活かして教えることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่สามารถถ่ายทอดเทคนิคการเรียนรู้ภาษาญี่ปุ่น สมัยที่ผู้สอนยังเป็นผู้เรียนอยู่ให้เข้าใจได้
12	日本への留学経験があることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่เคยมีประสบการณ์ไปแลกเปลี่ยนที่ประเทศญี่ปุ่น
13	日本語能力試験(JLPT)で N1 に合格していることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีผลสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น(JLPT)ระดับ N1
教師の人間性 ลักษณะนิสัยของผู้สอน	
14	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる。 สามารถพูดคุยกับผู้สอนอย่างสนิทสนม แม้จะเป็นนอกห้องเรียนก็ตาม

15	授業を楽しくする。 ผู้สอนทำให้คาบเรียนสนุก ไม่น่าเบื่อ
16	すべての学習者に公平である。 ผู้สอนมีความยุติธรรม ดูแลนักศึกษาเท่า ๆ กัน
17	日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。 ผู้สอนให้คำปรึกษาในเรื่องอื่น ๆ นอกจากภาษาญี่ปุ่นได้
18	学習者をほめたり、励ましたりする ผู้สอนมีการชื่นชม และให้กำลังใจผู้เรียนอยู่เสมอ
19	教師として威厳のある態度で学習者に接する。 ผู้สอนมีภาพลักษณ์ที่น่าเชื่อถือ
コース運営 การจัดการแผนการสอน	
20	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。 ผู้สอนมีการใช้สื่อการสอนที่หลากหลาย เช่น ภาพประกอบการสอน หรือ แบบฝึกหัดฟัง เป็นต้น
21	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。 ผู้สอนทำให้บรรยากาศในห้องเรียนมีความเป็นกันเอง
22	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่ฝึกการสื่อสาร
23	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่เน้นทำเป็นคู่หรือทำเป็นกลุ่ม
授業の実践能力 การนำความรู้มาประยุกต์ใช้ในห้องเรียน	
24	学習者に日本語で話すことを促す。 ผู้สอนพยายามให้นักศึกษาฝึกการใช้ภาษาญี่ปุ่นในการพูดคุย
25	日本語だけで授業をする。 ผู้สอนใช้เพียงภาษาญี่ปุ่นในการสอนเท่านั้น
26	日本人の考え方や思考方法を理解している。 ผู้สอนมีความเข้าใจวิธีการคิดของคนญี่ปุ่น
27	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる。 ผู้สอนสามารถแนะนำการ์ตูน, ซีรีส์, หรือเพลงญี่ปุ่นได้
28	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある。 ผู้สอนมีความเข้าใจถึงวัฒนธรรม ประเพณี และประวัติศาสตร์ของญี่ปุ่น
29	文法や語彙を学習者の母語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาไทยในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้
30	文法や語彙を日本語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาญี่ปุ่นในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้

日本人教師について/ สิ่งที่คาดหวังจากอาจารย์ผู้สอนชาวญี่ปุ่น

日本語教師の専門性 ความเชี่ยวชาญในการสอนภาษาญี่ปุ่นของผู้สอน	
1	外国語としての日本語教授法に精通している。 ผู้สอนมีความคุ้นเคยในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาต่างประเทศ
2	学習者からの質問に即座に答えられる。 ผู้สอนสามารถตอบคำถามของผู้เรียนได้ทันที
3	学習者の発音上の間違いを適切に直せる。 ผู้สอนสามารถแก้ไขสำเนียงในการพูดของผู้เรียนได้
4	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。 ผู้สอนสามารถแก้ไขไวยากรณ์ที่ผิดของผู้เรียนได้
5	試験(JLPT など)についての知識が豊富である。 ผู้สอนมีความรู้เกี่ยวกับเนื้อหาในการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น (JLPT เป็นต้น)
6	日本語と母語の違いをよく知っている。 ผู้สอนสามารถอธิบายจุดที่เหมือน และแตกต่างกันของภาษาไทยกับภาษาญี่ปุ่นได้
7	正しい発音やアクセントで流ちょうに話せる。 ผู้สอนใช้สำเนียงในการสอนภาษาที่ไม่ผิดเพี้ยนและสามารถพูดได้อย่างคล่องแคล่ว
指導経験と資格 ประสบการณ์และคุณวุฒิในการสอน	
8	修士またはそれ以上の学位を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีคุณวุฒิปริญญาโทขึ้นไป
9	日本語の教授経験が長いことに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีประสบการณ์ในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นระยะเวลานาน
10	日本語教育に関する資格を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีใบประกอบวิชาชีพการสอนภาษาญี่ปุ่น
教師の人間性 ลักษณะนิสัยของผู้สอน	
14	教室外でも話しやすいと親しみやすさを感じる。 สามารถพูดคุยกับผู้สอนอย่างสนิทสนม แม้จะเป็นนอกห้องเรียนก็ตาม
15	授業を楽しくする。 ผู้สอนทำให้คาบเรียนสนุก ไม่น่าเบื่อ
16	すべての学習者に公平である。 ผู้สอนมีความยุติธรรม ดูแลนักศึกษาเท่า ๆ กัน
17	日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。 ผู้สอนให้คำปรึกษาในเรื่องอื่น ๆ นอกจากภาษาญี่ปุ่นได้
18	学習者をほめたり、励ましたりする ผู้สอนมีการชื่นชม และให้กำลังใจผู้เรียนอยู่เสมอ

19	教師として威厳のある態度で学習者に接する。 ผู้สอนมีภาพลักษณ์ที่ดูน่าเชื่อถือ
コース運営 การจัดการแผนการสอน	
20	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。 ผู้สอนมีการใช้สื่อการสอนที่หลากหลาย เช่น ภาพประกอบการสอน หรือ แบบฝึกหัดฟัง เป็นต้น
21	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。 ผู้สอนทำให้บรรยากาศในห้องเรียนมีความเป็นกันเอง
22	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่ฝึกการสื่อสาร
23	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่เน้นทำเป็นคู่หรือทำเป็นกลุ่ม
授業の実践能力 การนำความรู้มาประยุกต์ใช้ในห้องเรียน	
24	学習者に日本語で話すことを促す。 ผู้สอนพยายามให้นักศึกษาฝึกการใช้ภาษาญี่ปุ่นในการพูดคุย
25	日本語だけで授業をする。 ผู้สอนใช้เพียงภาษาญี่ปุ่นในการสอนเท่านั้น
26	日本人の考え方や思考方法を理解している。 ผู้สอนมีความเข้าใจวิธีการคิดของคนญี่ปุ่น
27	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる。 ผู้สอนสามารถแนะนำการ์ตูน, ซีรีส์, หรือเพลงญี่ปุ่นได้
28	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある。 ผู้สอนมีความเข้าใจถึงวัฒนธรรม ประเพณี และประวัติศาสตร์ของญี่ปุ่น
29	文法や語彙を学習者の母語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาไทยในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้
30	文法や語彙を日本語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาญี่ปุ่นในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้

その他(記述)/ ข้อเสนอแนะเพิ่มเติม

著者



氏名 渡邊奈那
生年月日 1996 年 9 月 8 日
連絡先 1771/1 Pattanakarn Rd, Suanluang, Bangkok 10250, Thailand
E-mail:nana@tni.ac.th

学歴
2020 泰日工業大学大学院
経営学部日本語経営コース
2018 東北学院大学
教養学部言語文化学科

TNI

資料

TNI

学習者が求める日本語教師像に関するアンケート

แบบสอบถามเกี่ยวกับอาจารย์ผู้สอนภาษาญี่ปุ่นในอุดมคติที่ผู้เรียนคาดหวัง

このアンケートは、学生が TNI の日本人日本語教師とタイ人日本語教師のそれぞれにどのような期待をしているのかを調査するものです。このアンケートによって収集された情報はこの調査以外で使用されることはありません。

แบบสอบถามนี้จัดทำขึ้นเพื่อศึกษาค้นคว้าเกี่ยวกับอาจารย์ผู้สอนวิชาภาษาญี่ปุ่นชาวไทยและชาวญี่ปุ่นของสถาบันเทคโนโลยีไทย-ญี่ปุ่นที่ผู้เรียนคาดหวัง ซึ่งข้อมูลที่ได้จากแบบสอบถามนี้จะไม่ถูกนำไปทำอย่างอื่นนอกเหนือจากงานวิจัยนี้เท่านั้น

1. フェイスシート (Face sheet)

①性別 / เพศ

男性 / ชาย • 女性 / หญิง

②学年 / ชั้นปี

1 年生 / 1 • 2 年生 / 2 • 3 年生 / 3 • 4 年生 / 4 • 4 年生以上 / มากกว่า 4 ปีขึ้นไป

③学部 / คณะ

情報学部/เทคโนโลยีสารสนเทศ • 経営学部/บริหารธุรกิจ • 工学部/วิศวกรรมศาสตร์

④日本語学習歴/ประวัติในการเรียนภาษาญี่ปุ่น

1 年未満/น้อยกว่า 1 ปี • 1 年以上 2 年未満/มากกว่า 1 ปี แต่น้อยกว่า 2 ปี

2 年未満 3 年以上/มากกว่า 2 ปี แต่น้อยกว่า 3 ปี • 3 年以上/มากกว่า 3 ปีขึ้นไป

選択肢

1 全く求めない/ ไม่ต้องการเลย

2 あまり求めない/ ต้องการน้อย

3 どちらでもない/ ต้องการปานกลาง

4 求める/ ต้องการมาก

5 とても求める/ ต้องการมากที่สุด

タイ人教師について/ สิ่งที่คาดหวังจากอาจารย์ผู้สอนชาวไทย

日本語教師の専門性 ความเชี่ยวชาญในการสอนภาษาญี่ปุ่นของผู้สอน	
1	外国語としての日本語教授法に精通している。 ผู้สอนมีความคุ้นเคยในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาต่างประเทศ
2	学習者からの質問に即座に答えられる。 ผู้สอนสามารถตอบคำถามของผู้เรียนได้ทันที
3	学習者の発音上の間違いを適切に直せる。 ผู้สอนสามารถแก้ไขสำเนียงในการพูดของผู้เรียนได้
4	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。 ผู้สอนสามารถแก้ไขไวยากรณ์ที่ผิดของผู้เรียนได้
5	試験(JLPT など)についての知識が豊富である。 ผู้สอนมีความรู้เกี่ยวกับเนื้อหาในการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น (JLPT เป็นต้น)
6	日本語と母語の違いをよく知っている。 ผู้สอนสามารถอธิบายจุดที่เหมือน และแตกต่างกันของภาษาไทยกับภาษาญี่ปุ่นได้
7	正しい発音やアクセントで流ちょうに話せる。 ผู้สอนใช้สำเนียงในการสอนภาษาที่ไม่ผิดเพี้ยนและสามารถพูดได้อย่างคล่องแคล่ว
指導経験と資格 ประสบการณ์และคุณวุฒิในการสอน	
8	修士またはそれ以上の学位を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีคุณวุฒิระดับปริญญาโทขึ้นไป
9	日本語の教授経験が長いことに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีประสบการณ์ในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นระยะเวลานาน
10	日本語教育に関する資格を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีใบประกอบวิชาชีพการสอนภาษาญี่ปุ่น
11	学習者だった時の経験を活かして教えることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่สามารถถ่ายทอดเทคนิคการเรียนรู้ภาษาญี่ปุ่น สมัยที่ผู้สอนยังเป็นผู้เรียนอยู่ให้เข้าใจได้
12	日本への留学経験があることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่เคยมีประสบการณ์ไปแลกเปลี่ยนที่ประเทศญี่ปุ่น
13	日本語能力試験(JLPT)で N1 に合格していることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีผลสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น(JLPT)ระดับ N1
教師の人間性 ลักษณะนิสัยของผู้สอน	
14	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる。 สามารถพูดคุยกับผู้สอนอย่างสนิทสนม แม้จะเป็นนอกห้องเรียนก็ตาม

15	授業を楽しくする。 ผู้สอนทำให้คาบเรียนสนุก ไม่น่าเบื่อ
16	すべての学習者に公平である。 ผู้สอนมีความยุติธรรม ดูแลนักศึกษาเท่า ๆ กัน
17	日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。 ผู้สอนให้คำปรึกษาในเรื่องอื่น ๆ นอกจากภาษาญี่ปุ่นได้
18	学習者をほめたり、励ましたりする ผู้สอนมีการชื่นชม และให้กำลังใจผู้เรียนอยู่เสมอ
19	教師として威厳のある態度で学習者に接する。 ผู้สอนมีภาพลักษณ์ที่น่าเชื่อถือ
コース運営 การจัดการแผนการสอน	
20	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。 ผู้สอนมีการใช้สื่อการสอนที่หลากหลาย เช่น ภาพประกอบการสอน หรือ แบบฝึกหัดฟัง เป็นต้น
21	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。 ผู้สอนทำให้บรรยากาศในห้องเรียนมีความเป็นกันเอง
22	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่ฝึกการสื่อสาร
23	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่เน้นทำเป็นคู่หรือทำเป็นกลุ่ม
授業の実践能力 การนำความรู้มาประยุกต์ใช้ในห้องเรียน	
24	学習者に日本語で話すことを促す。 ผู้สอนพยายามให้นักศึกษาฝึกการใช้ภาษาญี่ปุ่นในการพูดคุย
25	日本語だけで授業をする。 ผู้สอนใช้เพียงภาษาญี่ปุ่นในการสอนเท่านั้น
26	日本人の考え方や思考方法を理解している。 ผู้สอนมีความเข้าใจวิธีการคิดของคนญี่ปุ่น
27	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる。 ผู้สอนสามารถแนะนำการ์ตูน, ซีรีส์, หรือเพลงญี่ปุ่นได้
28	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある。 ผู้สอนมีความเข้าใจถึงวัฒนธรรม ประเพณี และประวัติศาสตร์ของญี่ปุ่น
29	文法や語彙を学習者の母語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาไทยในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้
30	文法や語彙を日本語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาญี่ปุ่นในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้

日本人教師について/ สิ่งที่คาดหวังจากอาจารย์ผู้สอนชาวญี่ปุ่น

日本語教師の専門性 ความเชี่ยวชาญในการสอนภาษาญี่ปุ่นของผู้สอน	
1	外国語としての日本語教授法に精通している。 ผู้สอนมีความคุ้นเคยในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาต่างประเทศ
2	学習者からの質問に即座に答えられる。 ผู้สอนสามารถตอบคำถามของผู้เรียนได้ทันที
3	学習者の発音上の間違いを適切に直せる。 ผู้สอนสามารถแก้ไขสำเนียงในการพูดของผู้เรียนได้
4	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する。 ผู้สอนสามารถแก้ไขไวยากรณ์ที่ผิดของผู้เรียนได้
5	試験(JLPT など)についての知識が豊富である。 ผู้สอนมีความรู้เกี่ยวกับเนื้อหาในการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น (JLPT เป็นต้น)
6	日本語と母語の違いをよく知っている。 ผู้สอนสามารถอธิบายจุดที่เหมือน และแตกต่างกันของภาษาไทยกับภาษาญี่ปุ่นได้
7	正しい発音やアクセントで流ちょうに話せる。 ผู้สอนใช้สำเนียงในการสอนภาษาที่ไม่ผิดเพี้ยนและสามารถพูดได้อย่างคล่องแคล่ว
指導経験と資格 ประสบการณ์และคุณวุฒิในการสอน	
8	修士またはそれ以上の学位を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีคุณวุฒิปริญญาโทขึ้นไป
9	日本語の教授経験が長いことに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีประสบการณ์ในการสอนภาษาญี่ปุ่นเป็นระยะเวลานาน
10	日本語教育に関する資格を持っていることに期待する。 ต้องการผู้สอนที่มีใบประกอบวิชาชีพการสอนภาษาญี่ปุ่น
教師の人間性 ลักษณะนิสัยของผู้สอน	
14	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる。 สามารถพูดคุยกับผู้สอนอย่างสนิทสนม แม้จะเป็นนอกห้องเรียนก็ตาม
15	授業を楽しくする。 ผู้สอนทำให้คาบเรียนสนุก ไม่น่าเบื่อ
16	すべての学習者に公平である。 ผู้สอนมีความยุติธรรม ดูแลนักศึกษาเท่า ๆ กัน
17	日本語以外のことについても相談に乗ってくれる。 ผู้สอนให้คำปรึกษาในเรื่องอื่น ๆ นอกจากภาษาญี่ปุ่นได้
18	学習者をほめたり、励ましたりする ผู้สอนมีการชื่นชม และให้กำลังใจผู้เรียนอยู่เสมอ

19	教師として威厳のある態度で学習者に接する。 ผู้สอนมีภาพลักษณ์ที่ดูน่าเชื่อถือ
コース運営 การจัดการแผนการสอน	
20	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる。 ผู้สอนมีการใช้สื่อการสอนที่หลากหลาย เช่น ภาพประกอบการสอน หรือ แบบฝึกหัดฟัง เป็นต้น
21	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする。 ผู้สอนทำให้บรรยากาศในห้องเรียนมีความเป็นกันเอง
22	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่ฝึกการสื่อสาร
23	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる。 ผู้สอนให้แบบฝึกหัดที่เน้นทำเป็นคู่หรือทำเป็นกลุ่ม
授業の実践能力 การนำความรู้มาประยุกต์ใช้ในห้องเรียน	
24	学習者に日本語で話すことを促す。 ผู้สอนพยายามให้นักศึกษาฝึกการใช้ภาษาญี่ปุ่นในการพูดคุย
25	日本語だけで授業をする。 ผู้สอนใช้เพียงภาษาญี่ปุ่นในการสอนเท่านั้น
26	日本人の考え方や思考方法を理解している。 ผู้สอนมีความเข้าใจวิธีการคิดของคนญี่ปุ่น
27	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる。 ผู้สอนสามารถแนะนำการ์ตูน, ซีรีส์, หรือเพลงญี่ปุ่นได้
28	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある。 ผู้สอนมีความเข้าใจถึงวัฒนธรรม ประเพณี และประวัติศาสตร์ของญี่ปุ่น
29	文法や語彙を学習者の母語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาไทยในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้
30	文法や語彙を日本語で説明する。 ผู้สอนใช้ภาษาญี่ปุ่นในการอธิบายคำศัพท์และไวยากรณ์ได้

その他(記述)/ ข้อเสนอแนะเพิ่มเติม